

# SUN たなと。

## 弥生てらこやは 僕に「生き方」を教えてくれた



弥生てらこや (放課後子ども教室) 講師

**木下 聡一郎** さん  
Souichiro Kinoshita 弥生が丘



ラジオ・ハニー-FMでもっと詳しく聴けます!【10/19 15時10分~】

「木曜は僕の楽しみの日」生き生きとした声で話すのは、「弥生てらこや」で地域の子どもたちに勉強を教える木下聡一郎さん。今年スタートした大学生活にアルバイト。忙しい毎日でも、中学の頃から通い続けた週一回のてらこやは欠かさない。中学生までは教わる立場だった木下さんが、今では教える立場になった。「今、学校ではね」「最近こんなことがあって」——中学校を卒業しても、日々の過ごし方が変わっても、地域の今を知ることが出来る変わらない居場所、それがてらこやだ。

そんな大切な居場所も、木下さんにとって最初はただ勉強をする場所だった。通い始めたころ「習っていないので分かりません」そう言うと、ひどく叱られたという。「質問してでもいいから、まずは自分でやってみなさい」親以外に自分をこんなにも本気で叱る大人がいることに驚いた。どれだけ叱られてもなぜか毎週通い続ける自分がいた。てらこやが特別な存在になったのは進路に悩んだときだった。自分ひとりのために先生みんなが一緒になって考えてくれたのだ。そのときの嬉しかった気持ちは今でも覚えている。焦りだけが募り不安だった高校受験直前も、先生の「大丈夫だよ」の一言が何より心強かった。合格したときは、真っ先にてらこやに走った。



弥生てらこや講師 (元高校数学教師) 藤原 輝也 さん =弥生が丘=

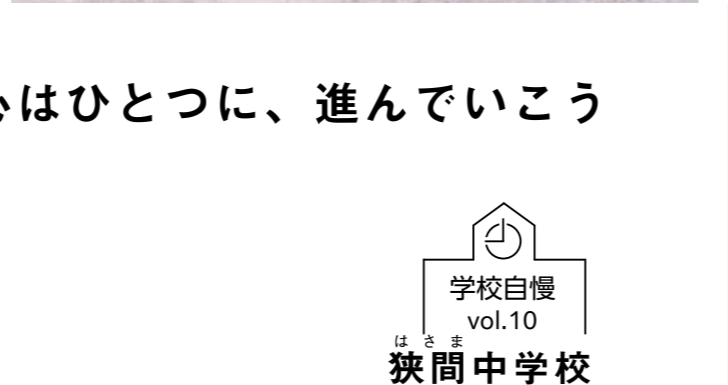
「がんばったね、おめでとう」自分以上に喜んでくれた先生たちを家族みたくに思ってしまった。こんなふうに大切に育ててもらったこと、弥生が丘で築かれてきたつながりを、今度は自分がつないでいくと決めた。今後は地域のラジオ体操の運営などもやってみたいと話す。目指すのは、みんなが何歳になっても地域とつながるまちだ。

木下さんの夢は三田の中学校の先生になること。義務教育最後の3年間、子どもたちが自立する前に伝えたいことがあるという。それは「挑戦」すること。自分から行動しなければ何も起こらないということ。とにかくまずは自分でやってみること。——あの日の叱られた自分を思い返す。てらこやは勉強だけじゃない、もっと大切な「生き方」を教えてくれたのだ。

木下くんは真面目に欠かさず来て苦手な教科も頑張る子でした。講師になった今も必ず後片付けをして帰るところに彼の人が表れていますね。てらこやでの最大の喜びは子どもたちが卒業しても来てくれること。てらこやがずっと続いていくことを感じ、嬉しく思います。



1



## 心はひとつに、進んでいこう

昭和58年4月、北摂三田ニュータウン最初の中学校として開校した狭間中学校。三田市が誕生して25年の節目の年でもあった。生徒は武庫小学校・狭間小学校区から通う。

毎朝のあいさつ運動など、学校をより良くしようとさまざまなことに取り組む生徒会役員の皆さんに自慢を聞いた。

**声聴く、みんなをつなぐもの**

生徒用玄関前に目安箱を設置しています。「こうすればもっといい学校にできる」という提案や、「こんなことはできないですか」などの質問を受け付けています。昨年度までは無記名でしたが、今年度からは記名式で投函してもらおうとしました。効果として自分の発言に責任を持つようになり、より良い学校をつくりたいという前向きな提案が増えってきました。直接は言いづらいことも目安箱を通じて発言できるので、生徒同士や先生との間をつなぐ大事なコミュニケーションツールのひとつになっています。

**毎日響く、元気なあいさつ**

狭間中学校の自慢は、みんなが気持ちよくあいさつできること。新しく着任された先生にもよく驚かれるほどです。みんな最初からあいさつができたのではなく、先輩たちの姿を見て自然とできるようになっているというのが狭間中の良い伝統になっています。

- 1 生徒会執行部と各委員会の委員長(3年生)。仲が良く笑顔が絶えない、団結力の強い9人!
- 2 生徒会と各クラスの代議委員が生徒玄関前で毎朝行うあいさつ運動。笑顔であいさつ、良い1日の始まり!
- 3 目安箱。生徒会で毎日中身を確認している。多いときには1日で5通ほど投函されることもあるそう。
- 4 生徒会通信は読みやすい!と生徒や先生からも好評。通信に登場するキャラクター「はさまる」も大人気!

生徒会では毎朝交代であいさつ運動を行っています。今年度取り組んでいるのが、「あいさつしてくれた人を数えること」、黙食となった給食の時間を生かし「放送でその数を報告すること」です。コロナ禍で気持ちが落ち込みがちになりあいさつする人が減ったこともありましたが、良いところに目を向けて毎日共有することで、みんなのやる気につながってきました。この取り組みを毎日続けてきたことで、また元気なあいさつが響いています!

**進! ONE HEART**

これは今年度の生徒会のスローガンです。コロナ禍の中、距離は取らないといけないけど、「心はひとつにみんなが」を一つずつ進んでいこう」という想いを込めています。また、2、3週間ごとに発行する生徒会通信のタイトルにもなっています。通信では生徒会の活動や委員会のお知らせだけでなく、目安箱の提案への回答も行います。全校生徒に配る通信で想いを共有することで、みんなの心がひとつになれることを目指しています。



2



3

